

子どもの栄養不良が深刻なウガンダ西部で、母子栄養に関する保健サービスの改善や、農業支援を通じた生計向上、保健と農業の連携強化を通して、コミュニティに栄養改善を定着させ、5歳未満の子どもの栄養状態改善を目指して活動しました。



農家200世帯に対して、農業技術指導と農業資材の提供、また小規模生産者グループの設立と農業資金の調達強化を行い、農家の生計向上を支援しました。



地域保健施設スタッフ35人と、村保健ボランティア86人に対して、母子栄養についての研修などを行いました。また6つの保健施設に栄養相談窓口を設置しました。



保健施設15ヶ所で啓発活動を実施し、のべ1万6,001人の保護者が栄養について学びました。また2歳未満の子ども9,089人の栄養状態の確認を行い、178人を医療サービスにつなげました。

事業開始時と事業実施後の母子栄養に関する指標の変化

指標	事業開始時 (2020年3月)	事業実施後 (2023年1月)
産後1時間以内の授乳	82.9%	97.1%
新生児とのスキンコンタクト	79.3%	91.2%
6か月未満乳児への授乳	75.0%	100%
1歳時点での授乳の継続	83.5%	92.3%
6か月以降の離乳食の導入	85.3%	92.2%
最低食事多様性水準	10.0%	42.5%
最低食事回数	50.1%	55.2%
最低食事水準	5.7%	35.4%
鉄分補給状況	5.3%	42.9%

